

●● 八重瀬町立新城小学校 ●●

～ 観光の仕事から環境問題を学ぶ ～

◆講師名

観光リゾート産業：株式会社ナチュラルブルー 星原 貴保 氏
(ダイビングインストラクター、自然ガイド等を務めている)

●カリキュラム

※教員より事前に行っていたビーチクリーンの振り返り
(ペットボトル、危険ゴミ、資源ごみ、お菓子の袋、冷蔵庫、
海外のゴミ等、様々なゴミがあったことを共有)

○観光リゾート産業

- ・講師のライフストーリー
- ・講師の観光の仕事
(海の学校の立ち上げや活動について)
- ・環境問題について(プラスチックゴミ)
「なぜ問題なのか?」
「どんな影響があるのか?」等
- ・子ども達へメッセージ

●● 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・仕事とは自分の個性を伸ばす。
- ・観光産業は身近でとても大切と思いました。
- ・初めて知ったことがたくさんだったし、観光について色んなことがわかった。
- ・話を聞いて仕事って、魅力的だなんて思いました。
- ・観光のことはあまり知らなかったから知ることができてよかったです。
- ・説明を聞いてすごい仕事だと思った。
- ・楽しい感じがして、やりがいがあるものと思った。
- ・海をきれいにしていきたい。
- ・人が喜んだらうれしいし、仕事もつらく感じない。
- ・自分もやりたい気持ちが増えた。
- ・仕事は、社会をより良くするとわかった

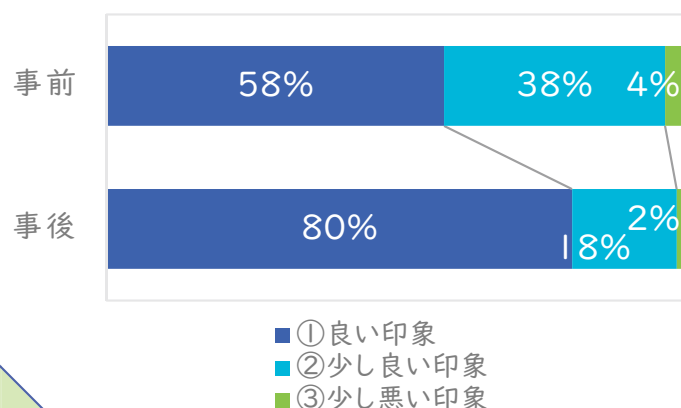
●取組みのPoint

- ・観光リゾート産業の仕事について知る。
- ・身近な環境問題を考える。
- ・自分自身は何ができるかを考える。
- ・仕事の楽しさや大切さを学ぶ。



◆新城小学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【観光】



講話前は観光産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて96%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて98%となり、良い印象への回答が増えました。児童からの声では、『観光客をおもてなす仕事だから』『海のゴミを拾って海をきれいにしている』『自然や社会を守っていると思った』という声が挙がっていました。



●● 那覇市立大道小学校 ●●

～ 将来、なりたい職業の選択肢を増やす ～

◆講師名

<文化産業>

吉川三線店

吉川 徹 氏

(沖縄の伝統楽器である三線の製作・販売・修理を行っている)

<福祉産業>

naturarhythm もっとこ

田盛 健了 氏

(福祉の現場で活躍してきた経験を活かし、障がい者や高齢者等の困っていることをこれまでの知識を活かし活動)

●カリキュラム

○文化産業

- ・講師のライフストーリー
- ・三線との出会い
沖縄の文化、歴史と絡めて三線の魅力を紹介
- ・体験『三線制作に使う道具に触れる』

○福祉産業

- ・手話でアイスブレイク
- ・「福祉ってなんだろう?」
- ・幸せってなんだろう?
- ・体験『声を出さずに読み聞かせ、手話体験』

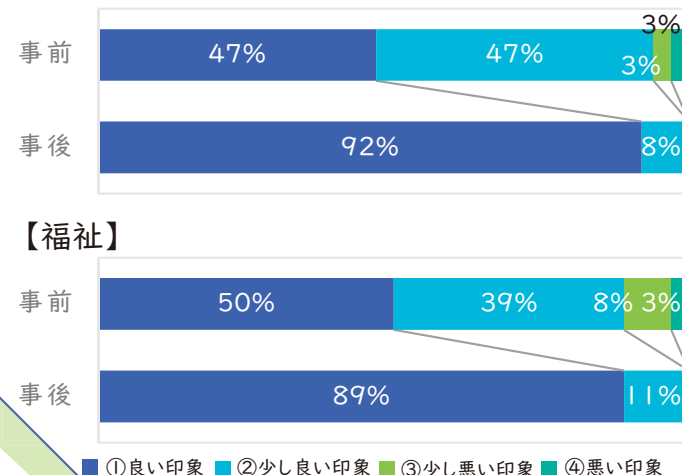
●● 児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・仕事への考え方が変わったし、自分の好きなことを仕事にするという考えがなかったから、とても参考になった。沖縄の文化のことをあまり知らなかったけど、今回の話でどんな時にうたわれていたとか戦争の時に作られた歌もあることを知った。
- ・福祉産業や文化産業のことをもっと知りたいと思った。
- ・難しいものもあったけど、仕事はやりがいがあって楽しいということがわかりました。私は吉川さんの文化産業(三線作り)をやりたいと思いました。
- ・私がお二人の話を聞いて一番心に残ったことは「努力」です。お二人の説明はそれぞれ違う話をしていましたが、二人共とても「努力」していることを知った。「努力」をし、なりたいものになっているので、改めて好きなものに就くには「努力」しようと思いました。

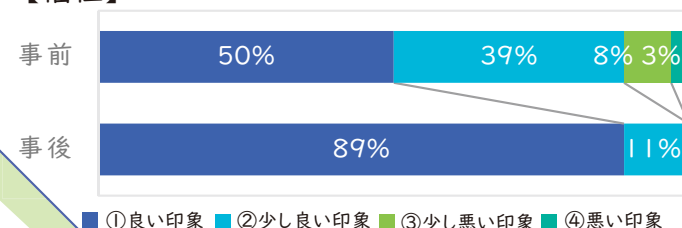


◆大道小学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【文化】



【福祉】



講話前は文化産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて94%、文化産業89%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて文化産業、福祉産業共に100%となり、良い印象への回答が増えました。児童からの声では、『地域特有の文化等を守ったり繋いでいくことがいいなと思った』『福祉産業は人を繋げるものでもあるとわかった』という声が挙がっていました。



伊江村立伊江小学校 ～ 仕事の魅力、やりがいを学ぶ ～

◆講師名

<情報通信産業>

株式会社プロトソリューション
松村 賢 氏
(デジタルマーケティング事業等運営会社)

<建設産業>

株式会社具志堅建築設計事務所
山城 勝久 氏
(住宅、学校、病院、福祉施設等、様々な用途・規模の建築や空間の設計・監理を行なっている)

●カリキュラム

○情報通信産業

- ・ITの現在と過去の比較
電話機、AIやVR、無人レジ等について
- ・人に想いを伝える大切さ
「自分の夢を語ろう」というプレゼン大会
- ・子ども達へメッセージ

○建設産業

- ・講師のライフストーリー
- ・建設産業の様々な職種や社会的役割
- ・講師がこれまで設計した事例紹介
- ・子ども達へメッセージ

●取組みのPoint

- ・各産業について知る。
- ・各産業の魅力を学ぶ。
- ・『働く』について考える。
- ・仕事の楽しさ、大切さを学ぶ。
- ・各産業の仕事の内容について知る。
- ・各産業の社会的役割を知る。
- ・仕事へのやりがいや魅力がわかる。

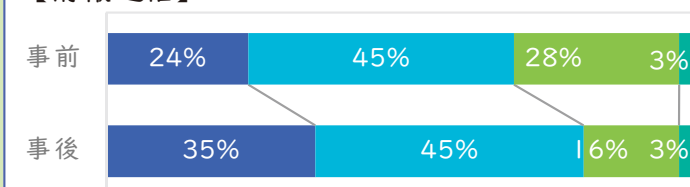
●児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・人の命を支える仕事がこの世界にはたくさんあることがわかった。
- ・色々な人が協力して仕事が成り立っていることがわかった。
- ・仕事をやっている人達は難しいこともやっていることがわかりました。
- ・伊江島のドームとか、たくさんの人達が関係していることがすごいなと思いました。
- ・建物の構図をパソコンで考えるのがすごいなと思いました。
- ・色んな産業の話が聞けて、一つしか夢はなかったけど、ITの仕事や建築関係の仕事もいいなと思いました。
- ・自分の将来の夢を決めるために詳しいことを知ることができて良かった。
- ・最初は将来の夢の幅が狭かったけど、こんな仕事もあるんだとわかりました。
- ・色々なのを見てやってみたいと思いました。

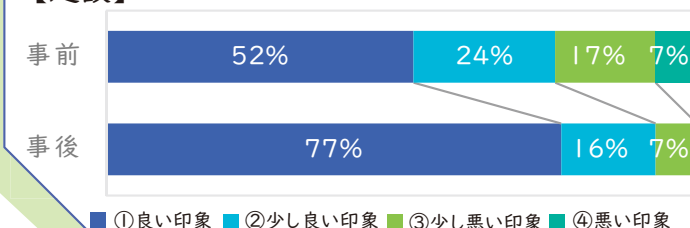


◆伊江小学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【情報通信】



【建設】



講話前は情報通信産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて69%、建設産業76%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて情報通信産業80%、建設産業93%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『大変な仕事だけどみんなのために頑張るってすごいなと思いました』『人の住まいを作るとても偉大な仕事』という声が挙がっていました。



与那国町立久部良中学校 ～ ホームページを作ってみよう ～

◆講師名

情報通信産業：株式会社ビットノット 代表取締役 秋元 智道 氏
(ダイビングショップに特化したホームページの制作/ウェブマーケティング等を行っている)

●カリキュラム

○情報通信産業

- ・ITについて
- ・個人情報の重要性とその取り扱いについて
- ・与那国町のインターネット環境について
- ・ウェブサイト作成に必要な様々な職種や役割について
- ・地元にながらIT業界の仕事ができる

○体験

『与那国町の観光スポットを紹介するホームページを作ってみよう』
※実施前までに生徒達に用意してもらったこと
与那国町のアピールしたいポイント・その説明文(500～1000文字程度)・写真の準備

●取組みのPoint

- ・情報通信産業の魅力を学ぶ。
- ・『働く』について考える。
- ・仕事の楽しさ、大切さを学ぶ。
- ・情報通信産業には、様々な職種があることがわかる。
- ・情報通信産業の仕事の内容について知る。
- ・仕事へのやりがいや魅力がわかる。

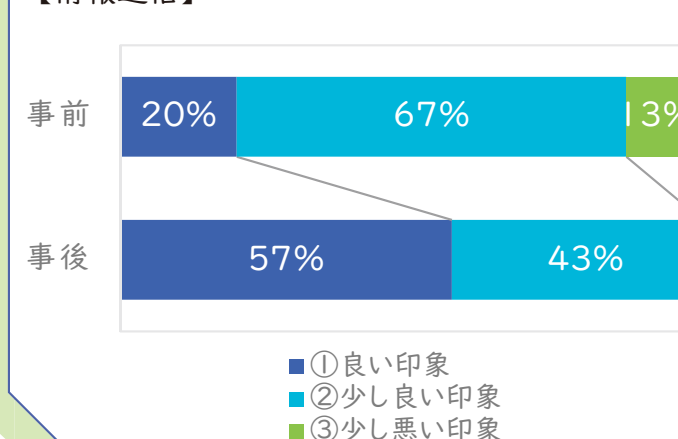
●児童生徒の声(実施後の事後アンケートより記載)

- ・はじめて、与那国島の良さを伝えるブログをつくることができたので、とても良かった。
- ・自分が住んでいる与那国島でも自分の知らないことがあるのでネットの情報を使ってもっと知り、自分でも色んな人に伝えられるようになりたいと思いました。
- ・秋元智道さんの話を聞いて情報通信技術はプログラマー、ライター、カメラマン等、色んな役割の人が関わっていることがわかりました。
- ・今回の話を聞いてみて、ITは難しいのかなと思っていたけどそこまで難しくはなかったし、そしてホームページはどうやって見れているのかを知らなかったのが今回話を聞いてわかりました。



◆久部良中学校アンケート結果 「産業のイメージについて」

【情報通信】



講話前は情報通信産業について、「良い印象」「少し良い印象」合わせて87%の回答だったが、講話後には「良い印象」「少し良い印象」合わせて100%となっており、良い印象への回答が増えていました。児童からの声では、『情報を扱う仕事なので、1個でも間違えたら、情報が世界中の人々に伝わるので、いいところもあれば、悪いところもあるなと思った。』という声が挙がっていました。

